



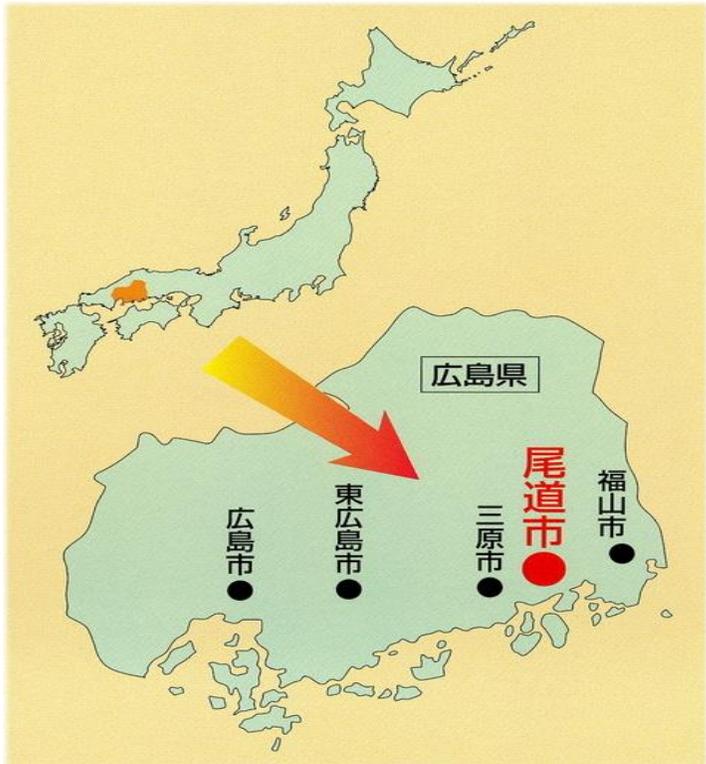
尾道市
ONOMICHI CITY

尾道の魅力を活かして
人々をひきつけるまちの仕組みを構築する事業



尾道市ってどんなところ？

- ❁ 人口：125,340人（※R7.6.1現在）
- ❁ 面積：284.89km²
- ❁ 市制：明治31年（1898年）4月1日施行

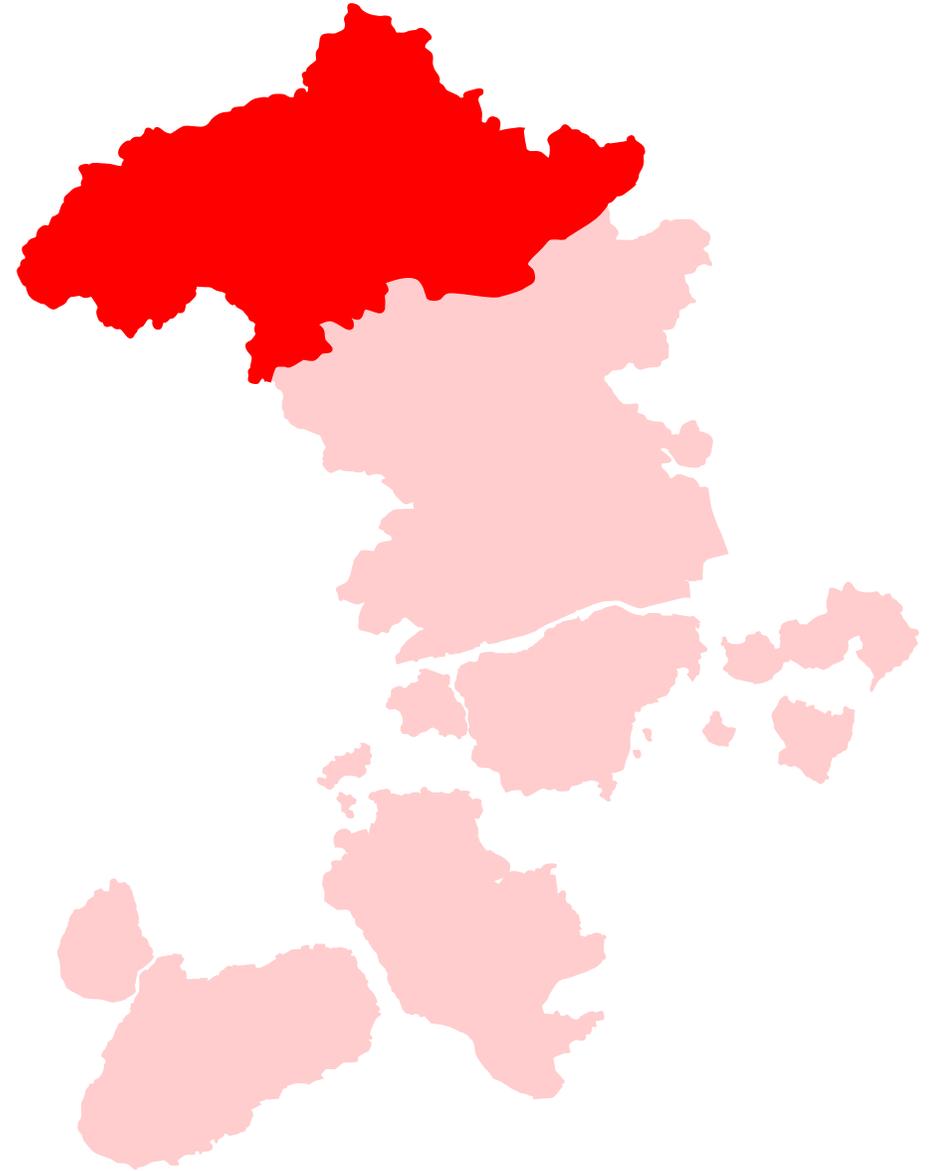


尾道市ってどんなところ？

やまなみ（北部地域）

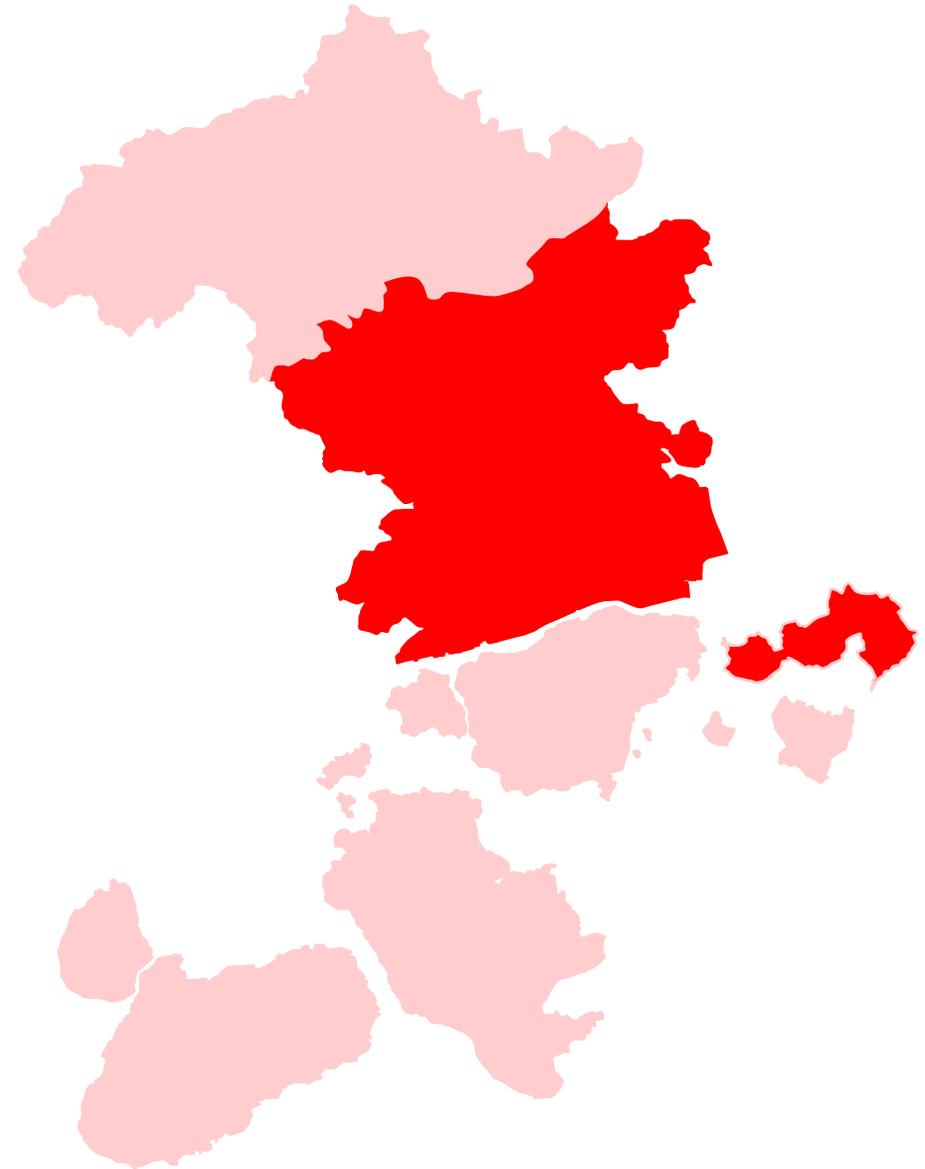


- ・豊かな自然環境で、農作物が豊富
（ぶどう「デラウェア」や柿、さつまいも、米など）
- ・山や川に囲まれ、のびのびと暮らせる
- ・交通の利便性が良い（やまなみ街道など）
- ・地元の中学・高校のソフトボール部が強い



尾道市ってどんなところ？

まちなみ（中部地域）



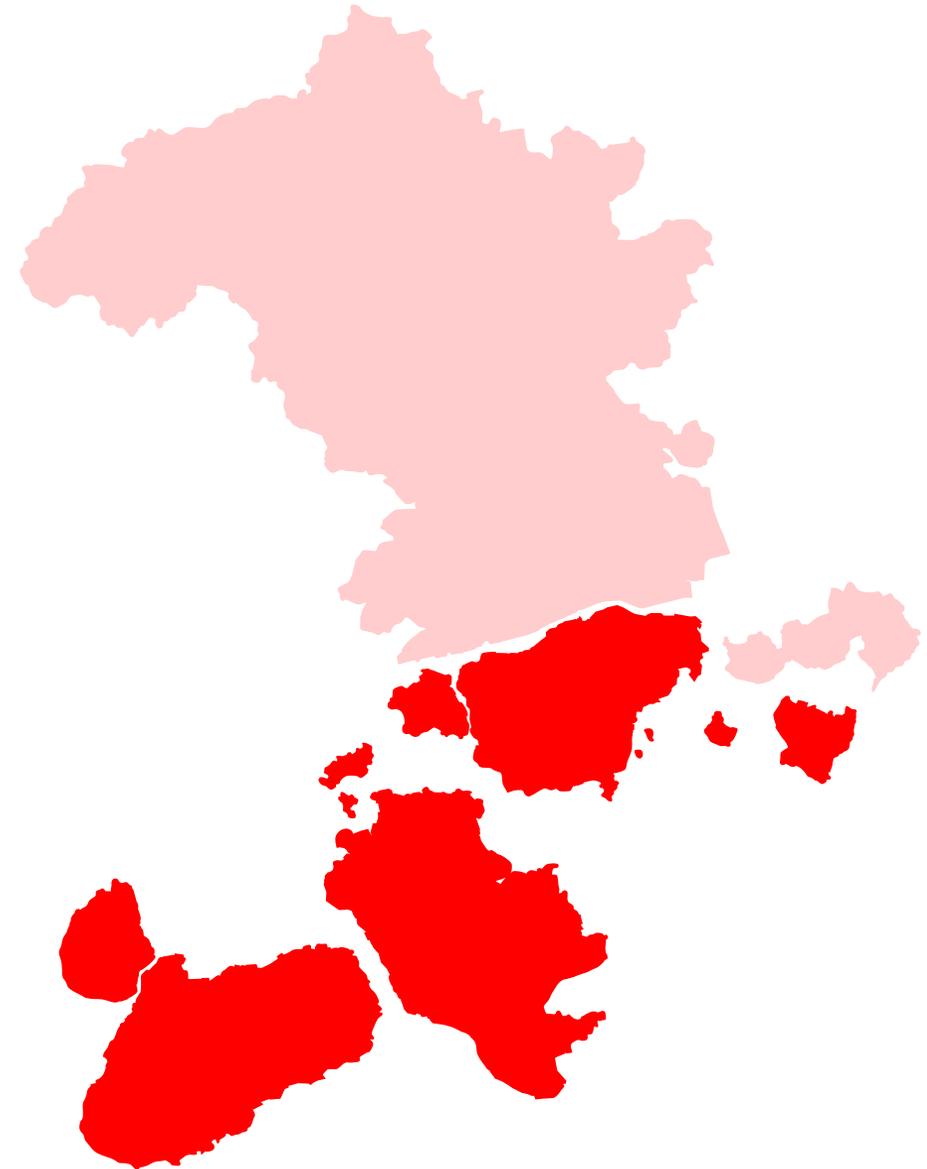
- ・インスタ映えする尾道水道
- ・神社仏閣が多い（良神社、千光寺、西国寺、浄土寺など）
- ・さくらの名所が多い（千光寺公園や桜土手など）
- ・歴史・文化・芸術のまち、坂のまち
- ・日本遺産「尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市」

尾道市ってどんなところ？

しまなみ（南部地域）



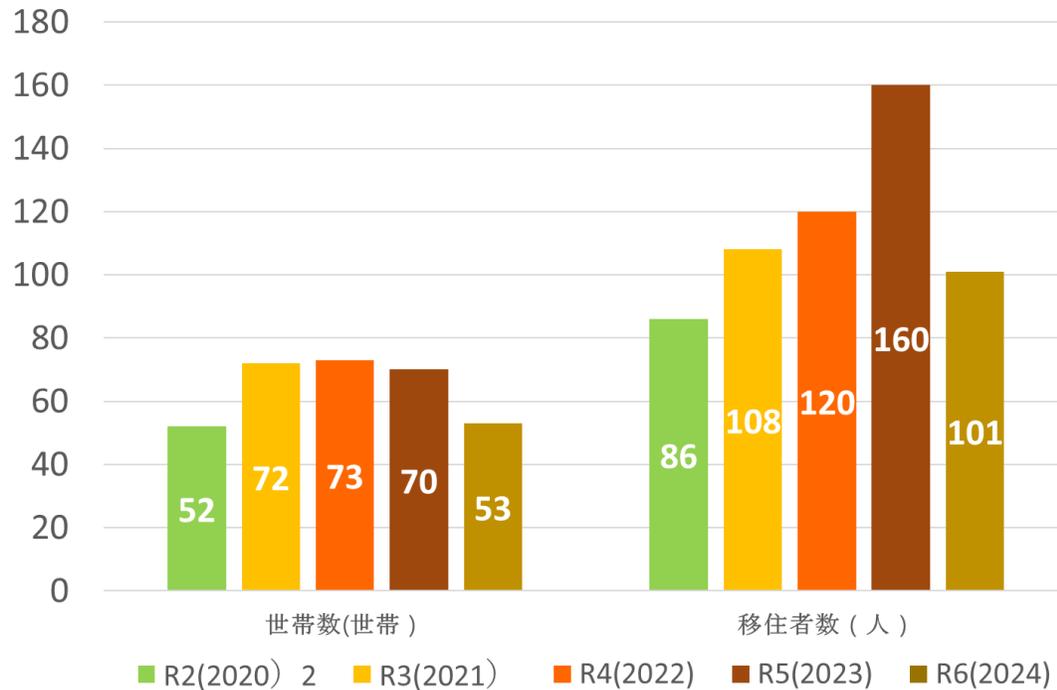
- ・複雑な地形を持つ近海では、地魚が豊富
（アコウ、デベラ（タマガンゾウビラメ）、鯛など）
- ・レモン、みかん、はっさくなど柑橘が豊富
- ・サイクリストの聖地
（しまなみ海道で、2年毎に国際サイクリング大会開催）



現状の課題（移住者数）

尾道市移住世帯数・移住者数⇒徐々に増加
(東京都・大阪府・神奈川県・広島県内からの移住が多い)

年度別移住者数(尾道市移住相談窓口確認)

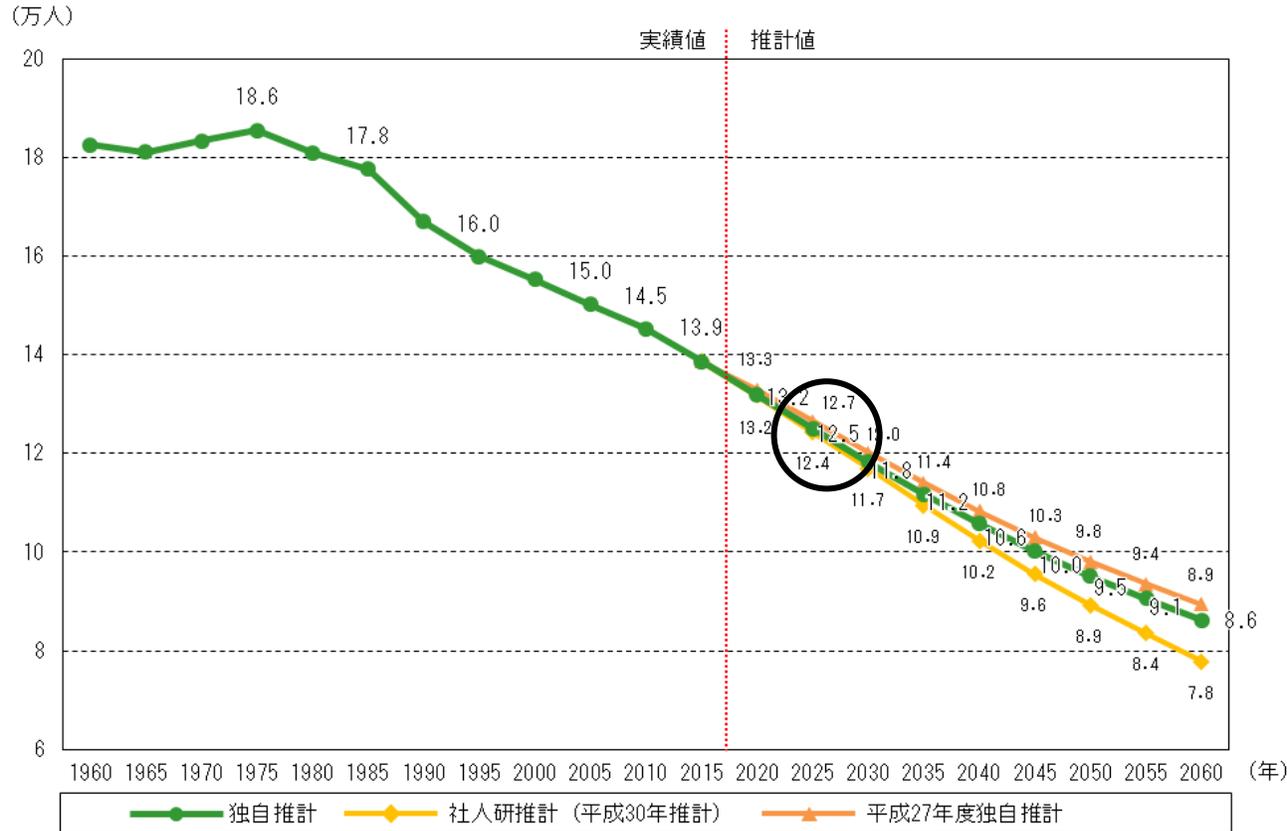


- ・観光地で事業を始めたい
- ・しまなみの景色が綺麗
- ・穏やかな雰囲気憧れている
- ・市街地の街並みが素敵 など

尾道の魅力が少しずつ伝わり
移住者は、概ね増加傾向

現状の課題（人口）

尾道市人口の推移（独自推計）



(注) 1. 平成27年（2015年）は実績値。令和2年（2020年）以降は推計値
 2. 平成27年国勢調査結果の確報値と、推計の前提となる社人研の「日本の地域別将来推計人口（平成30年（2018年）推計）」のデータを用い、国が設定した仮定値をもとに、独自推計を行った。独自推計においては、国の推計に合わせて令和22年（2040年）に人口置換水準と同程度の2.07に設定し、また、純移動率も前回の推計と同様、社人研の仮定値を用いた。
 資料：総務省「国勢調査」、尾道市「尾道市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」

- ・ 大都市圏への憧れ
- ・ 近隣市町の方が便利
- ・ 遊ぶところが無い
- ・ 就職先が少ない
- ・ 住環境が良くない など



20歳代を中心に転出超過が多く、
 少子高齢化が加速



このままだと・・・
 尾道の文化・産業を継承する
 人材が不足してしまう

事業の目的・事業概要

【目的】

尾道に継続して住み続けてくれる人、
尾道に新たに住んでくれる人を増やし、
尾道の文化・産業を守り、地域経済を強化したい

11 住み続けられる
まちづくりを



尾道の魅力を活かして

人々をひきつけるまちの仕組みを構築する事業

【目指す状態】

尾道市在住者が継続して住み続けている

【施策】

就業機会の創出

住環境の確保

地域への愛着・誇りを持てる教育・機会の充実

【目指す状態】

尾道の魅力にひかれ多くの人に移住している

【施策】

戦略的なシティプロモーションの実施

移住相談体制の充実

店舗・事務所・住宅の流動化促進

就学前から大学までを通じた教育力の充実

得られる成果

尾道市内在住者

地域へ愛着・誇りを持ち、
多くの人が続いて住み続ける

尾道市外在住者

尾道の魅力にひかれ、
多くの人が続いて移住する

尾道の文化の継承や産業（農業・漁業・観光業など）
を担う人が増加し、地域経済が強化

日本全国・世界中に、尾道の魅力を発信し続けられる

寄附によるベネフィット

企業様から寄附を頂けたら・・・

- ・ 市長から感謝状を直接贈呈します
- ・ 本市ホームページへ掲載します
- ・ 報道機関へ情報提供します



尾道市

ONOMICHI CITY

私たちと一緒に、
“おのみち”を支えていただけませんか。何卒よろしく願いいたします。

お問い合わせ先

尾道市企画財政部 政策企画課 政策企画係

TEL : 0848-38-9316 (直通)

Mail : kikaku@city.onomichi.hiroshima.jp